

出願番号	特願2013-056674	管理番号	OP00917
発明の名称	植物保護剤及び植物病害の防除方法		
この特許が使われる産業分野・用途	植物保護剤(葉面での抗感染作用) 種子消毒資材 植物用栄養剤		
技術の概要	本発明は、新規の植物保護剤及びこれを用いる植物病害の防除方法に関するものである。本発明者らは、鉄酸化細菌の生成する酸化鉄(BIOX)について、作物(植物)保護の利用の可能性について検討した結果、BIOXは、直接的な抗菌性及び細胞毒性がほとんど認められず、安全である上に、病原菌の侵入を顕著に阻害できる活性を有し、更に植物に抵抗性を誘導する活性も有するという知見を得たものである。		
請求項	<p>(以下に一部のみ記載)</p> <p>【請求項1】 非晶質及び／又は微結晶性のケイ素及びリン含有酸化鉄を含む植物保護剤。</p> <p>【請求項2】 前記酸化鉄が、鉄及び酸素を主成分として含有し、鉄、ケイ素及びリンの元素比率が原子数%で各々66～87:2～27:1～32(鉄、ケイ素及びリンの原子数%の合計は100)である、請求項1に記載の植物保護剤。</p> <p>【請求項3】 前記酸化鉄が、更に0.1～5重量%の炭素を含有する、請求項1又は2に記載の植物保護剤。</p> <p>【請求項4】 前記微結晶性酸化鉄が、フェリハイドライト及び／又はレピドクロサイトである、請求項1～3のいずれか一項に記載の植物保護剤。</p> <p>【請求項5】 前記酸化鉄が、鉄酸化細菌によって生成された酸化鉄である、請求項1～4のいずれか一項に記載の植物保護剤。</p>		
その他:			

問い合わせ先 : 岡山大学 知的財産本部 渡辺 裕
 電話 : 086-251-8472
 メール : wyutaka@cc.okayama-u.ac.jp